



創立152周年 学校だより

令和7年6月13日(金)



勿来二小

第11号

いわき市立勿来第二小学校長

人権について考える時間

5月30日(金)に6年生を対象とした人権教室の出前授業がありました。講師のいわき人権擁護委員である下本榮子先生から、一人ひとりが生まれながらにもつ大切な権利で全ての人が幸せになれる権利、それが人権であることを教えていただきました。DVDで、ある6年生の学級内で起こったいじめについて描かれたドラマを見ました。始めは、ちょっとした「遊び」のつものからかいが、次第にエスカレートして、学級中にいじめが広がっていく様子を見ました。直接いじめの行為をしている子ども、それを見て笑っている子ども、傍観者としてただ見ている子ども、いじめられている友だちのために何とかしようと行動する子どもなどが描かれており、下本先生からは、笑っている人、傍観している人もいじめをしている人と同じであることをご指導いただきました。そこで、いつ自分がそのような立場になるか分からない状況から、3つの勇気について、お話がありました。次に代表児童の人権教室から学んだこと、考えたことを紹介します。



いじめについて描かれたドラマを見ました。始めは、ちょっとした「遊び」のつものからかいが、次第にエスカレートして、学級中にいじめが広がっていく様子を見ました。直接いじめの行為をしている子ども、それを見て笑っている子ども、傍観者としてただ見ている子ども、いじめられている友だちのために何とかしようと行動する子どもなどが描かれており、下本先生からは、笑っている人、傍観している人もいじめをしている人と同じであることをご指導いただきました。そこで、いつ自分がそのような立場になるか分からない状況から、3つの勇気について、お話がありました。次に代表児童の人権教室から学んだこと、考えたことを紹介します。

6年1組 渡邊 楓さん

人権について、いろいろな大切なことを教えていただきました。私がいちばん心に残った所は、もし、自分がふざけて言ったこと、やったことが、相手が「いやだな、やめてほしいな」と思っていれば、それは、いじめということになるところや、自分が「もうムリ、イヤだ」と感じているのなら、大人や家族、先生に相談していい。そう思ったら、にげていいんだと、はじめて知りました。

命はたった一つしかない大切なものだから、お互いに支え合い、思いやる気持ちをもつことは大切だなと、とてもそう感じました。

租税教室について

5月28日(水)は、いわき税務署の財務事務官の廣瀬さんと阿部さんにお出でいただき、6年生が税について学びました。税金がなかったらどんな世の中になるのか、



DVDで学んだ後、6年生が年間にかかる税金の重さを実際に体感しました。下に、6年生の感想を紹介します。

6年1組 柳内 煌冴 さん

ぼくは、租税教室が終わった後、思ったことがあります。1つ目は消費税についてです。ぼくらは、当たり前に百均で110円払っていたけど、その内10円は消費税で、ぼくらは税金を払っていたのか！と驚きました。2つ目は、1億円の重さです。1億円はただの紙が1億枚だから軽いと思っていましたが、10kgもあって重かったです。

R7勿来二小の先生

名前 せや ゆめか
瀬谷 優芽花 先生

担当 主事(事務室)

出身 中島村

Q1:お仕事の内容を教えてください。

A1:学校生活を支えるために、お金の管理や電話対応をしています。

Q2:どうして先生になろうと思ったのですか。

A2:学校が好きで、みんなが楽しく安心して過ごせるようにお手伝いをしたいと思い、学校事務職員になりました。

Q3:好きな言葉と理由を教えてください。

A3:「一歩ずつ」です。すぐにうまくいかなくても、焦らずに一歩ずつ頑張ることで成長できるからです。

4:子ども時代の夢は何でしたか。

A4:雑貨屋さんです。私はかわいい文房具を集めることが好きだったので、自分のお店を開くことが夢でした。

Q5:もし、今現在、1日だけ違う職業になれるとしたら何になってみたいですか。

A5:ディズニーランドのキャストさんです。

Q6:好きなTV番組はありますか。

A6:「世界の果てまでイッテQ」が好きです。色々な国の文化について楽しく知ることができて、元気な気持ちになれるからです。